

【事例 H28-20】山梨県南アルプス市

生活困り事相談会

【概要】本市では複合的な課題を抱える方への包括的な相談支援体制を目指し、H24 年度に福祉総合相談課を設置した。

社会福祉士や精神保健福祉士、保健師といった専門職を配置し相談支援業務にあたる中で、「失業＋多重債務＋うつ」「DV＋離婚＋経済困窮」といった相談も多く弁護士との連携強化が必要となっていた。

相談会を弁護士会と協働で開催する事で、利用者の利便性の向上とあわせて、多職種間の顔の見える関係を作り上げる事ができた。

【実施主体】南アルプス市保健福祉部福祉総合相談課

【大綱の分類】6) 社会的な取組で自殺を防ぐ

【事業予算】 120 千円 (H. 27 年度)

【利 点】

- ▼相談会という周知は潜在的な相談者の掘り起こしに繋がった
- ▼多重債務などの表面化している困り事で相談会を利用するが、多職種でアセスメントを行う事で困り事の背景にある課題や価値観の理解が深まり相談がかみ合った
- ▼事例を通して「福祉」や「司法」といった他分野の相互理解が深まり、それぞれの社会資源の共有にも繋がった

【実施に至るまで】

開催までの準備

- ①県弁護士会や自立相談支援機関への趣旨説明と依頼をおこなった。
- ②広報や市のホームページでの周知をおこなった。
- ③図書館や公共施設のほか、スーパーなどにポスターやチラシを掲示した。
- ④地域包括支援センターや障害者相談支援センターなど各相談支援機関への周知をした。

計画を立てる上での工夫

- ①自殺対策強化月間の9月、3月に開催した。
- ②チラシに相談例を載せて、相談内容のイメージを伝えやすくできるよう工夫した。
- ③弁護士、社会福祉士、精神保健福祉士、保健師などでワンストップの対応を工夫した。(弁護士2名、社会福祉士2名、保健師2名、精神保健福祉士1名)

具体的な内容

▼相談会受け付け

- ・当日は予約は不要で13時15分～15時までを受け付け時間とした。
- ・受け付け票の記載をしていただいた後、インテーク担当が相談の主訴を要約し相談対応者を決めた。

▼相談会対応

- ・弁護士と福祉関係者がセットで相談対応をし多角的に見立てを行えるようにした。

▼相談会終了後

- ・インテーク担当が相談会利用の感想の聞き取りと、継続相談の場合の具体的な設定を行い途切れないようにした。
- ・福祉総合相談課で継続相談の方の進捗を管理した。

【成果】

- ▼相談内容に関して法律的観念も含む多角的な見立てがおこなう事ができた。
- ▼相談会が潜在的なニーズのある方の相談行動に繋がるきっかけとなり、個別支援から解決という事になったケースもあった。
- ▼相談会での相談対応を通じ弁護士等の多職種との相互理解が深まった。
- ▼弁護士会と合同で自殺や困窮者支援に関しての勉強会開催へ発展した。

【補足】

▼相談会の受け付け票

相談内容を整理し対応者を決めた。

▼相談会のポスター・チラシ

スーパーや図書館などに掲示した。

相談受付票		受付番号:
以下へ、ご記入をお願いします。		
フリガナ	ご住所	
お名前	電話番号	
① 今日どのようなことでお困りですか? <input type="checkbox"/> 多量債務 <input type="checkbox"/> こころの相談 <input type="checkbox"/> 生活困窮 <input type="checkbox"/> 健康問題 <input type="checkbox"/> 介護負担 <input type="checkbox"/>		
内容		
② 今日誰の相談にいらっしゃいましたか? <input type="checkbox"/> 記入者本人 <input type="checkbox"/> それ以外の方		
フリガナ	お名前	
ご住所	電話番号	
③ その方の家族構成についてお答え下さい。		
続柄	氏名	年齢 性別 職業・学校
		特記事項
④ 現在の就労状況についてお答えください。 <input type="checkbox"/> 一般就労 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> していない <input type="checkbox"/> その他 ()		
⑤ 現在の健康状態についてお答えください。 <input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 悪い () どのような症状でお困りですか? () また、それはいつ頃からですか? ()		
⑥ この相談会をどのようにお知りになりましたか? <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> 広報 <input type="checkbox"/> 紹介 (紹介者のお名前:) <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> その他 ()		
ありがとうございました。以下は、記入不要です。		
対応者記入欄		

**南アルプス市民のための
“お金のトラブル”と“こころ”の
生活困りごと相談会開催!!**

～弁護士、精神保健福祉士、社会福祉士、保健師等による法律と健康相談～

たとえばこんな悩みでお困りの方

- 債務問題**
 - クレジットカードやサラ金の返済ができない。
 - 人の借金の連帯保証人になったら、返済の請求を受けて困っている。
 - 人に貸したお金を返してもらえない。
- 健康問題**
 - よく眠れなくて体がたるい。
 - なんとなく不安になって仕方がない。
 - アルコールに関する悩み。
- 消費問題**
 - 悪徳商法に騙されないか心配。
 - 高齢者・障害者の財産管理 (成年後見)について知りたい。
- その他**
 - 働きたいけど働けない。
 - ひきこもりの家族がいる。
 - 認知症のこと。

**予約不要
相談無料**

会場はこちらです。



開催日:平成28年3月12日(土)
相談時間:13時半～16時半
受付時間:13時15分～15時
**場所:南アルプス市健康福祉センター
(かがやきセンター)
(南アルプス市坂野2806-1)**

問い合わせ先:南アルプス市役所福祉総合相談課
Tel:055-282-7250

【課 題】

- ・ 広報やチラシなどの情報が届かない方への周知は、更なる工夫が必要である。
- ・ 困窮にある方がキャッチしやすい情報を発信する必要がある。

【事業種別】 相談会実施（一般市民対象）

【準備期間・人数】 2ヶ月・6名（1回開催につき）

【予防段階】 2次予防

【自治体規模】 人口 71千人 財政規模 189億円

【自治体負担率】 1/4（地域自殺対策強化交付金 経済情勢対策事業 補助率 3/4）

【事業対象】 一般市民

【支援対象】 一般市民

【実施主体・問合せ先】 南アルプス市保健福祉部福祉総合相談課

TEL：055（282）7250

※データは全てH27年度時点のもの

【参考資料・文献】

- ・ 南アルプス市ホームページ：<http://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/>